

みのり

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

代表11名農業への思いを堂々と発表!

～農業クラブ校内意見発表会を開催～



【堂々の発表】

5月13日(土)、農業クラブ校内意見発表会が開催されました。春休みに全校生徒が農業に対する思いを作文にまとめて提出、例年より高レベル

の力作揃い。代表の11名が、「地産地消に関する意見」「農 即 人」「大きな地域をみんなが支えている」「放置された森林」「野菜の食品加工について」「現代の食品について」「生物の事を考えれば環境を変えられる」「草花と笑顔の繋がり」「動物の飼育が人の心にもたらす効果」「農業のこれから」「食育～デュアルシステムを通して～」のテーマで、それぞれの思いを堂々と発表してくれました。

今年度からPTA総会の前に開催。保護者から「返事やお辞儀がしっかりしている」「みんな堂々とした発表だった」「自分の経験を踏まえて、具体的に説得力があった」などの感想が寄せられました。

厳正な審査の結果、以下の3名が県大会出場者に決定。6月21日(水)、JA新潟教育センターで開催される県大会でも、若者のアツイ思いを伝えてきてください。応援しています。

県大会出場者

- Ⅰ類「生産・流通・経営」
江辺 学さん(3-1) 「放置された森林」
- Ⅱ類「開発・保全・創造」
渡邊沙央里さん(3-4)
「生物の事を考えれば環境を変えられる」
- Ⅲ類「ヒューマンサービス」
市川 諒さん(3-3)
「食育～デュアルシステムを通して～」

おめでとうございます

小学生や工・商高生と一緒に土と触れ合う!

～アグリ・スタディーツアー(ふれあい農園)を開催～



【←草花の寄せ植えと一緒にパチリ】

【工・商高生も頑張りました→】

5月28日(日)、第1回アグリ・スタディーツアー(ふれあい農園)が開催され、加茂小学校の多くの児童と保護者の皆さんから参加していただきました。

今年度からは、NPO法人トライ・フューチャーを組織する三条商業高校、新潟県立工業高校の皆さんも参加。草花の寄せ植えとサツマイモの苗の定植を行いました。

世話役の本校農業クラブの生徒は、「鉢床に赤玉土を入れ、土が流れないように」「正面から見てきれいなように花苗の向きに考えて」などとアドバイス。サツマイモの苗の定植では、小学生から「なぜ苗を斜めに植えるの?」などの鋭い質問もあり、楽しく勉強になった一時でした。

10月にはサツマイモを収穫し、工業高校生が作った焼き芋機で、おいしい焼き芋を食べる予定です。次回も大勢の参加をお待ちしています。

○NPO法人「トライ・フューチャー」とは…

加茂農林高校、新潟県立工業高校、三条商業高校の3校で、昨年11月に組織。法律による特定非営利活動法人として認証されました。3校の強みを生かして、観光、防災、環境など、地域の活性化のために、様々な活動を行います。

壮行会で加農健児の健闘を祈る！

～空手道部・写真部が県大会で見事入賞！～



【会長激励の言葉】

5月9日(火)、生徒総会・農業クラブ総会に引き続き、壮行会が開催されました。

青海会会長の矢澤たくみ匠さんが激励の言葉を送り、各運動部と写真部の代表が、「まずは1勝」「上位大会を目指す」

など、県大会の目標や決意を述べました。

最後に、応援団委員のリードで、全校で校歌、「勝ちけり(第2応援歌、凱旋歌)」、三三七拍子、エールを力強く送りました。短期間の練習にもかかわらず、声の通った素晴らしい応援でした。

応援に後押しされ、空手道部の湯田光世さん(3-1)、高木知香さん(1-1)が県総体で見事3位に入賞し、北信越大会出場権を獲得。写真部の石田迅さん(2-2)が高文連写真専門部撮影大会で入選しました。うれしい知らせです。

目標に向かって努力することで、人間力を高める部活動。加農健児のますますの健闘を祈ります。

同窓会東京支部総会に参加、伝統を実感！



5月20日(土)、東京四ツ谷で、同窓会東京支部総会が開催されました。

第49回卒の大先輩から若手まで各界で活躍される約30名が集まり、「寄宿舍で共に過ごした仲間の

【お手製のPATCHワーク】絆は一生の宝」「今はなき蒲原鉄道での通学が思い出深い」「赤門から植物園を通り、赤星校長先生の銅像に敬礼したものだ」など、楽しいお話を伺うことができました。また、校舎前景のお手製PATCHワークも披露されました。

本校同窓会の支部は約40、同窓会本部総会には約500名の方が参加されるとか。これほどの同窓会は滅多にありません。5月11日に創立114年を迎えた本校。歴史と伝統の重さを実感します。

在校生には、加茂農林高校生としての誇りを持って、充実した高校生活を過ごしてほしいものです。

田植えを終えて、美しい早苗の水田に！



【←上級生の機械植え】



【1年生の手植え→】

5月11・12日、作物コース(生産技術科)の2・3年生が、田上農場(1.4haの水田)で田植えを行いました。先生の指導のもと、6条植えの田植機を上手に操作。「目線を少し遠くにしたら曲がらないで進めた」「秋の収穫が楽しみ」などの声が聞かれました。

また、5月25・26日には、1年生全員が、赤門前の1年生実習田で手植え。クラスにより植える苗の本数を変えて、生育の違いを観察する計画です。生徒からは、「手の甲まで入れて植えたら苗が浮いてこなかった」「つま先から足を入れたらふらつかなかった」「しりもちをついて冷たい…」などの声。

水の張られた早苗の水田は、美しい日本の風景です。稲作は日本農業の原点。八十八の手間をかけて、美味しいお米ができますように。

生命情報コース「総合実習」本格スタート！



5月11日(木)、生命情報コースの「総合実習」が行われました。外部の専門家の生の声をお聞きするとともに、前後の調べ学習を通じて、自分

【講義を真剣に聞く生徒】 たちなりの課題解決策を提案するという授業です。

この日は、「田上町を農業と観光で元気にするために」という課題。田上町役場の産業振興課のお二人から「田上町の農業と観光業の現状と課題、将来ビジョンについて」というお話を伺いました。

田上町の振興に最前線で携わっている方の生の声を聞くことで、現状をよく踏まえた上で、かつ柔軟な発想が求められることを学びました。そして、何よりも、地域の発展のために大きな志を持つことの大切さを深く感じることができました。